

後志つながる教室

(第5回小樽・後志地域包括ケア連絡会)

「楽しく学んで、お互いを知ろう!!」実施報告

平成25年度から、「北海道後志総合振興局保健環境部」「後志地域リハ広域支援センター」、の2者、平成27年度から「おたる地域包括ビジョン協議会」と一体となり3者を主催として開催してきました。平成29年度は、上記3者に加えて、「北後志ケア連絡会」「小樽市介護支援専門員連絡協議会」「小樽市訪問介護事業所連絡協議会」と全部で6団体での共催事業となっております。

昨年までの「後志つながるネット交流会」では医療介護の専門職同士の交流会でしたが、今年度は「後志つながる教室」として、市民も参加できるようにと多彩なプログラムで開催されました。

参加者の皆さんは、それぞれの専門職の視点や市民の活動を通して、お互いを知り、楽しく学べる機会となった、とても有意義な会でした。

日時 平成29年9月2日(土) 10:00~
場所 済生会小樽病院(小樽市築港10番1号)
参加者 医療介護従事者等123名 一般32名

来年の教室も乞うご期待!
ぜひご参加ください

第1部	★市民公開講座 住み慣れた地域で最期まで暮らすために～いま、『この町』でできること～ 東京都大田区 地域ささえあいセンター センター長 澤登 久雄 氏
第2部	★特別講演 認知症になっても大丈夫と語れる地域を目指すには VR 認知症体験会 株式会社 シルバーウッド 代表取締役 下河原 忠道 氏 ★各ブース 1 「薬剤師のトリセツ」 小樽薬剤師会 会長 桂 正俊 氏 2 「気をつけて!栄養って大事!」 済生会小樽病院 NST委員会 言語聴覚士 須藤 栄 氏、管理栄養士 多田 梨保 氏 3 「市民の活動を知ろう!」 Presentation: 地域版介護予防教室(すみのえ)、杜のつどい 4 「人に聞けない相続の話」 税理士 大林 慎一 氏
第3部	多職種交流会



★市民公開講座(100名を超える参加者)
住み慣れた「まち」で最期まで過ごせる、地域づくりの実践の講演。住民と専門職の織りなす協働の重要性を感じました。



★特別講演(講演+VR認知症体験)
認知症になるとお終いでしょうか?「認知症になっても地域で暮らせる」を深く考えさせられました。



★市民活動(地域版介護予防教室)
各町内会の地域版介護予防教室の紹介。参加者も介護予防体操を体験し、心地よいリラックスタイムでした。

<参加者の声を、アンケートより一部紹介します>

- ・東京都のような大きな都市でも地域のつながりをつくることができているので、小樽でも広めていけるとよいと感じた。
- ・普通の人々が気軽に集える場所があるというのは、今後生活していく上で非常に大切なことと感じます。
- ・1つ1つが参考になり勉強になり、「自分のできることを」考えたいと思います。